

国語科学習指導案

平成22年11月 日 ()

第 時限

普通科	2年組	教室	指導者	戸部 聡
単元名	経験を生かす(評論1) 『失敗に学ぶ』 畑村 洋太郎		教科書	高校生の現代文
			発行所	明治書院

単元目標	○自分の考えをもととする。(関心・意欲・態度) ○文章の内容を叙述に即して読み取り, 筆者の考えを理解できる。(読む能力) ○文章特有の表現や語句の用いられ方について理解できる。(知識・理解)
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

単元の評価規準	関心・意欲・態度 ・「失敗に学ぶ」ことに関し, 自分の考えをもととしている。	読む能力 ・筆者が失敗から学んだことを理解している。	知識・理解 ①文章中の語句の意味を理解している。 ②筆者の考えを理解するためのキーワードを理解している。
---------	-------------------------------------------	-------------------------------	------------------------------------------------------------

指導と評価の計画	全5時間扱い 第1時 文章中の語句, 名言の意味を確認する。(知・理①) 第2時 筆者の考え方(「創造力」, 陰の世界の情報伝達)について考える。(読) (知・理②) 第3時 筆者の考え方(失敗のプラス面に目を向けよう)について考える。(読) (知・理②) 第4時 自分の考えを書き, グループ内で発表し, 話し合う。(関・意・態)・・・(本時) 第5時 グループで発表する。(関・意・態)
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

本時目標	第4時(全5時間中) ○文章の内容に即し, 自分の考えをもととしている。(関・意・態)
------	------------------------------------------------

資料	原稿用紙, 模造紙
----	-----------

	学習内容	学習活動	時間	指導上の留意点及び評価の実際
展	導入	本時の課題, 目標の確認 ・本時の課題, 目標を確認する。 ・本時で書く内容を確認する。	5	・目標を板書する。 ・「失敗から学んだこと」をそれぞれ書いていくということを確認する。 ・難しく考えないで経験を思い起こすこと, 人の経験から学んだことや読書体験の中からでもよいことを伝える。 ・書いたものがグループ内での発表原稿になることを確認する。 ・「失敗談」と「学んだこと」を中心に書くようにさせる。
	展	自分の考えを書く。 ・原稿用紙に自己の失敗談及びそこから学んだことを書く。	15	・「自己の失敗談」, 「そこから学んだこと」が明確になるように書くことを指示する。 ・教師の「失敗」に学んだ体験を例として紹介する。 ◎筆者の意見を基に考えようとしている。(関・意・態①) 評価方法: 机間指導 【指導の手だて】 ○何を書いたらいいのかわからない場合は, ワークシートやノートを用い, 筆者の考えを確認させる。 ○書き終わった場合は, 「失敗談になっているか」「そこから学んだこと」が明確になっているかを確認させる。 ○発表することを頭の中で整理させる。
	開	グループ内で発表する。 ・自己の失敗談及びそこから学んだことを発表する。 話し合う。 ・グループ内で発表されたことに関して話し合い, 模造紙にまとめる。	10 15	・1グループ5~6人のグループをつくる。(計6グループ) ・他の人の発表をメモしながらよく聞くよう指示し, 自分の考えと比較するようにさせる。 ・発表は「失敗談」, 「学んだこと」の順にさせる。 ・まとめ方は自由だが, 「失敗談」, 「学んだこと」に発表内容が生かされているかを確認させる。また, 「感想」を加えることを指示する。 ・模造紙に書くときは名前を伏せることを伝える。 ・同じような失敗や学んだことはまとめさせる。 ・レイアウトを工夫させる。 ・「失敗に学ぶ」の筆者の見解を再確認し, 模造紙のまとめに書く加えるように指示する。
	開	本時のまとめ 次時の学習確認 ・本時を振り返る。 ・グループごとに発表することを伝える。	5	・筆者の意見と自分の経験とを結び付けることができたかを振り返る。 ・発表する際の係や進行の段取りを各グループで確認させる。